新地町社協だより

# まごころ

令和３年７月５日発行（第６２号）
社会福祉法人　新地町社会福祉協議会

〒979-2702　相馬郡新地町谷地小屋字樋掛田 40-1
☎(0244) 62-4213／FAX(0244) 63-2285

## 令和３年２月福島県沖地震
## ボランティアへのご協力
## ありがとうございました

**一般ボランティア**
落ちた瓦の撤去作業
家屋内の片付け　等

**技術ボランティア**
屋根の応急処置作業

令和３年２月１３日に発生した福島県沖地震では、町内で甚大な被害が発生しました。

社会福祉協議会では、２月２４日に災害ボランティアセンターを設置し、高齢者世帯や障がい者世帯等を対象に、家屋内の片付けや落ちた瓦等の撤去作業のほか、専門的な技術ボランティアによる屋根の応急処置等の作業を行いました。

（センター設置期間　令和３年２月２５日～３月３１日）

| | 対応件数 | 活動人数 |
|---|---|---|
| 一般ボランティア | ２３件 | ４３人 |
| 技術ボランティア | ４６件 | ３６０人 |

※技術ボランティアは４月１４日までご支援いただきました

社協だよりの作成経費の一部として共同募金配分金が使用されています。

# 【役員改選】会長に大堀武氏、副会長に佐々木哲彦氏が就任

令和３年６月２２日、第１回評議員会及び評議員選任・解任委員会にて新たに理事８名、監事２名、評議員１５名が選任されました。また、同日行われた第２回理事会において、会長に大堀武氏、副会長に佐々木哲彦氏が就任しました。

会長　大堀　武

日頃より、新地町社会福祉協議会の運営と事業活動に対し、ご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、令和３年６月22日に開催されました評議員会及び理事会において、本会の理事・会長に再任されましたので、引き続きよろしくお願いいたします。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、本会事業についても大幅に抑制されましたが、皆様のご協力により業務遂行できましたことに感謝申し上げます。また、本年２月13日に発生しました福島県沖地震により多くの方々が被災されましたことに心からお見舞い申し上げます。

さて、近年少子高齢化や核家族化、新型コロナウイルス感染症予防等により、地域のつながりが希薄化しており、福祉に関する相談等も多様化・複雑化しています。地域の見守りや支え合いが大切なものになっていますので、皆様のご協力をお願いします。

新地町社会福祉協議会といたしましても、福祉団体と連携し、地域福祉の充実や介護保険サービスの提供、ひとり暮らし高齢者等の在宅福祉サービスなど、高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせる環境づくりを目指し、役職員一丸となって取り組んで参りますので、会員皆様のなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 理事

齋藤ゆき子（赤十字奉仕団）
八巻　円（民生児童委員協議会）
佐々木哲彦（行政区長会）
大堀　武（町長）
目黒　靜雄（議会）
斎藤　崇淳（学識経験）
後藤　顯一（商工会）
目黒　荘一（社会福祉協議会）

任期：令和３年６月22日から令和４年度決算に係る定時評議員会の終結の時まで

## 評議員

桑折　篤次（老人クラブ連合会）
菅野　真和（社会福祉事業団体）
三宅　友子（民生児童委員協議会）
竹澤　永（民生児童委員協議会）
荒　礼子（福田婦人会）
水戸　髙夫（行政区長会）
菅野　尚一（行政区長会）
村上　勝則（行政区長会）
本田　和也（ライオンズクラブ）
渡部　啓子（人権擁護委員）
太田　陽子（ボランティア連絡協議会）
岡田ミサ子（更生保護女性会）
佐々木孝司（教育長）
水戸　洋一（議会）
荒　和雄（交通安全協会）

任期：令和３年６月22日から令和６年度決算に係る定時評議員会の終結の時まで

## 監事

森　一久（学識経験）
菅野　正浩（健康福祉課長）

## 評議員選任・解任委員

村山　正之（外部委員）
菅野　正浩（監事）
目黒　廣子（事務局員）

## 福祉サービスに関する苦情解決第三者委員

黒膓　文男（岡）
佐々木哲彦（富倉）
目黒　淳（木崎）

▶評議員会

▶理事会

# 令和３年度　事業計画と収支予算

## １．組織体制の充実と自主財源の確保

・理事会、評議員会の開催・会員の募集

## ２．地域福祉の充実

・民生児童委員協議会やボランティア団体との協働活動
・老人クラブ活動育成
・いきいきサロンへの助成　・福祉関係団体の育成援助
・社協だよりの発行　・ホームページの活用
・生活資金の貸付及び相談
・心配ごと相談所の開設
・生活支援体制整備事業の推進

## ３．共同募金・日本赤十字活動の推進

・赤い羽根共同募金運動（歳末たすけあい募金運動）、日本赤十字社員増強運動の推進
・災害見舞金、支援物資の支給

## ４．在宅福祉サービスの推進

・居宅介護支援事業　・訪問介護事業
・介護予防・日常生活支援総合事業
・要援護高齢者等外出支援サービス事業
・ひとり暮らし高齢者給食サービス事業
・高齢者世帯交流会の開催
・福祉用具貸出事業
・身体障がい者福祉協会への協力
・手をつなぐ親の会への協力

## ５．日常生活自立支援事業（あんしんサポート）

## ６．被災された方を対象に

・生活支援相談員による防災集団移転団地、災害公営住宅等での生活支援（見守り・相談）

＜収入の部＞

| 項　目 | 金　額（円） |
|---|---|
| 会　費 | 3,300,000 |
| 寄附金 | 201,000 |
| 経常経費補助金 | 23,776,000 |
| 助成金 | 20,000 |
| 受託金 | 11,581,000 |
| 貸付事業 | 300,000 |
| 事　業 | 484,000 |
| 介護保険事業 | 19,048,000 |
| 受取利息配当金 | 14,000 |
| その他 | 22,000 |
| 積立資産取崩 | 2,500,000 |
| サービス区分間繰入金 | 2,829,000 |
| 合　計 (1) | 64,075,000 |

＜支出の部＞

| 項　目 | 金　額（円） |
|---|---|
| 人件費 | 44,133,000 |
| 事業費 | 7,188,000 |
| 事務費 | 2,681,000 |
| 貸付事業 | 300,000 |
| 共同募金配分金事業 | 1,993,000 |
| 積立資産 | 2,220,000 |
| サービス区分間繰入金 | 2,829,000 |
| 合　計 (2) | 61,344,000 |

| | |
|---|---|
| 予備費 (3) | 230,000 円 |
| 当期資金収支収支差額 (4)＝(1)−(2)−(3) | 2,501,000 円 |
| 前期末支払資金残高 (5) | 6,321,000 円 |
| 当期末支払資金残高 (4)＋(5) | 8,822,000 円 |

## 新地町社会福祉協議会組織体制

一般会員・特別会員・法人会員
評議員会（議決機関）１５名 ― 評議員選任・解任委員会３名
監事２名 ― 理事会（執行機関）８名
会　長　大堀　武
副会長　佐々木哲彦

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務局長 | 目黒　荘一 | 生活支援コーディネーター | 目黒　静子 | 訪問介護 | | 居宅介護支援 | |
| 事務局次長 | 目黒　廣子 | 〃　補助員 | 山内　美穂 | ヘルパー | 齋藤ひとみ | 副主任ケアマネジャー | 角田有美子 |
| 主　査 | 松田　友紀 | 老人クラブ指導員 | 小泉　修平 | 〃 | 横山　友子 | | |
| 主　事 | 早川　真也 | 生活支援相談員 | 菅野　一子 | 〃 | 菊地　和枝 | | |
| | | 〃 | 伊藤　信子 | 〃 | 林　みね子 | | |

# 令和2年度　事業報告と決算報告

## １．組織体制の充実と自主財源の確保

・会議開催等（理事会４回、評議員会４回開催）

・社協会費の取り組み

| | |
|---|---|
| 一般会員 | ２,２５５,０００円 |
| 特別会員 | ３１５,０００円 |
| 法人会員 | ７３０,０００円 |

## ２．地域福祉の充実

・いきいきサロン
活動助成（20 団体）

レクリエーションで大笑い（上真弓サロン）

・地域づくり勉強会の開催

▲渋民地区

▲作田地区

・民生児童委員協議会の開催

毎月研修や意見交換を行っています

・老人クラブ連合会

ニュースポーツ交流大会への参加

## ３．在宅福祉サービスの推進

・居宅介護支援事業　実利用者　５２人
延べ取扱件数　４７３件

・訪問介護事業　実利用者　２０人
延べ回数　４,８４６回

・介護予防・日常生活支援総合事業
実利用者　１４人
延べ回数　６７８回

・ひとり暮らし高齢者
給食サービス事業
配食サービス（月３回）
延べ２,７８１食

・見守り訪問活動（年２回）
延べ２９０世帯

新型コロナウイルスの影響により、従来の集合型のサービスに代えて、職員による戸別訪問活動を実施しました。

・高齢者世帯見守り事業
１０５世帯

「お変わりないですか？」
健康状態や生活状況を確認

・各種団体事業

身体障がい者福祉協会
（施設見学）

ボランティア連絡協議会
（動画研修）

## ４．共同募金・日本赤十字活動の推進

・赤い羽根共同募金
１,４３３,８２７円

・歳末たすけあい募金
１,１８３,３７１円

・日本赤十字社費
１,１５４,５００円

赤い羽根共同募金
（学校募金）

## ５．東日本大震災による被災者支援

生活支援相談員が、防災集団移転地や災害公営住宅等を訪問し、生活相談に応じた。

延べ訪問者数
１,２１９名

＜収入の部＞

| 項　　目 | 金　額（円） |
|---|---|
| 会　費 | 3,300,000 |
| 寄附金 | 740,000 |
| 経常経費補助金 | 22,750,133 |
| 助成金 | 117,000 |
| 受託金 | 10,566,048 |
| 貸付事業 | 78,000 |
| 事　業 | 485,280 |
| 介護保険事業 | 20,660,380 |
| 受取利息配当金 | 5,311 |
| その他 | 3,348,404 |
| 積立資産取崩 | 9,220,876 |
| 合　　計 (1) | 71,271,432 |

＜支出の部＞

| 項　　目 | 金　額（円） |
|---|---|
| 人件費 | 58,065,162 |
| 事業費 | 8,381,010 |
| 事務費 | 2,434,770 |
| 貸付事業 | 80,000 |
| 共同募金配分金事業 | 1,870,167 |
| 固定資産取得 | 256,300 |
| 積立資産 | 2,160,240 |
| 合　　計 (2) | 73,247,649 |

| | |
|---|---|
| 当期資金収支差額 (3)＝(1)－(2) | ▲1,976,217 円 |
| 前期末支払資金残高 (4) | 9,293,254 円 |
| 当期末支払資金残高 (3)＋(4) | 7,317,037 円 |

## コロナウイルス関連の特例貸付のお知らせ

申請を希望する方は、事前に電話予約をお願いします（62-4213）

（令和３年８月末まで受付）

| | ①緊急小口資金（主に休業された方向け） | ②総合支援資金（主に失業された方向け） |
|---|---|---|
| 対　象　者 | 新型コロナウイルスの影響で休業等により収入が減少し、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯 | 新型コロナウイルスの影響で失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯 |
| 貸付上限額 | ２０万円以内 | ２人以上　月２０万円以内<br>単　身　月１５万円以内<br>貸付期間　原則３月以内 |
| 据置期間 | １年以内 | １年以内 |
| 償還期限 | ２年以内 | １０年以内 |

※①、②ともに、無利子・保証人不要です。

※今回の特例措置では、償還時において、なお所得の減少が続く住民税非課税世帯の償還を免除することができることとしています。

あなたの困りごとに寄りそう制度　相談無料

## 生活困窮者自立支援制度 のご案内

生活困窮者支援制度では、「働きたくても働けない」「住む所がない」など、生活全般の困りごとに対し、専門の支援員が相談者一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行います。

### 自立相談支援

支援員が一緒になって自立に向けた支援を行います。

### 住居確保給付金の支給

就職に向けた活動を要件に一定期間家賃相当額の支給を行います。

### 家計改善支援

家計の見える化や必要な貸付のあっせんを行い、収支のバランスを整えます。

### 子どもの学習支援

経済的に困難を抱えている家庭の子どもに対し、学習支援や相談支援を行います。

相談・問い合わせ先
福島県社会福祉協議会
生活自立サポートセンター
電話０２４４－３２－１７５３

# 心配ごと相談所

日常生活で抱える困りごとや心配ごとの相談に応じ、内容に沿って関係機関を紹介します。

○開催日
　毎月1日、10日、20日
　（休日にあたる場合は、翌平日）
○時　間：午前10時～午後３時
○場　所：保健センター
○相談料：無　料

**心配ごと相談員** を紹介します

民生児童委員

・加藤　澄子氏（杉目）　・千尋　和夫氏（中島）
・三宅　友子氏（作田）　・八巻　静江氏（菅谷）

学識経験者

・荒　　孝市氏（中里）　・佐々木敏則氏（木崎）
・田村　民雄氏（小川）　・吉田　栄子氏（藤崎）

# 寄附御礼

（令和３年２月～令和３年６月）
社会福祉活動のために活用させていただきます。

・**柴野　麻梨子　様（福島市）**
　故櫻井芳夫様のご遺志として
・**齋藤　和正　様（沢口）**
　故齋藤ミナ子様のご遺志として
・**佐藤　光弘　様（岡）**
　故佐藤雄吉様のご遺志として
・**中津川　洋美　様（岡）**
　福島県沖地震に対する乾パン、飲料水の寄附
・**飯舘村社会福祉協議会　様**
　福島県沖地震に対する寄附

# 福祉に関する掲示板

図書館１階エントランスにチラシを掲示しています。ご自由にお取り下さい。

## 【ひきこもり家族教室】

ひきこもりで悩んでいるご家族を対象に、当事者同士の情報交換、リフレッシュを目的に家族教室を開催しています。（相談無料。年５回開催。日程は下記までお問い合わせください。）

時　間　午後1時30分～午後3時30分
場　所　南相馬市原町保健センター
問い合わせ　県相双保健福祉事務所
　電話0244－26－1132

## 【障がい者１１０番】

障がいのある方やその家族などが抱える日常生活での困りごとやトラブル、相続・財産・契約等の専門的な内容の相談にも応じます。（相談無料）

相談時間　月曜日～金曜日
　午前8時30分～午後5時
問い合わせ　県障がい者社会参加推進センター
　電話024－563－5110

## 【福祉の仕事相談会】

福祉の仕事に関する求職登録や資格取得等の相談を行っています。（相談無料。日程は下記までお問い合わせください。）

時　間　午前10時30分～午後2時30分
場　所　県内5会場で実施（南相馬市、いわき市、会津若松市、白河市、郡山市）
問い合わせ　県社会福祉協議会
　電話024－521－5662

## 【被災地住民支え合い活動助成事業】

東日本大震災により、被災された地区の住民同士で行う季節行事やサロン活動の事業に対し、上限１０万円の助成を行っています。

※詳しい要項については、「福島県共同募金会」ホームページよりご確認ください。

URL　https://akaihane-fukushima.or.jp/